

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校新聞部

高体連
高文祭結果3

秋季高体連・高文連などで
行われた各種大会結果の続報
をお届けする。

↓果敢に攻めるキャプテン谷口くん

ラグビー部 準優勝



0 vs 64 光泉カトリック

11月13日、皇子山総合運動公園陸上競技場で第102回全国高校ラグビーフットボール大会滋賀県予選決勝戦が行われた。本校ラグビー部と光泉カトリック高校ラグビー部が雨の中激闘を繰り広げ、奮戦するも0対64で本校ラグビー部が敗北した。

試合を終えて、キャプテンの谷口忠獅朗くん(3-2)は「やりきった。力を出し切れたけれど、めちゃくちゃ悔しい」「本気で勝ちを信じてやってこられた幸せな3年間だった」と振り返る。

フォワードの要、プロップのセンダナ・キムくん(3-2)は「悔しいのは悔しい。準決勝の怪我で迷惑をかけてしまったけれど、この仲間と決勝まで行けてよかった」「ワントライ取れたらよかったと思う。結果は結果として受け止める。3年間応援してもらえて嬉しかった」と語った。

今後、谷口くんは進学して理学療法士を、センダナくんは就職先でラグビーを続けプロを目指す。

この試合で、2人を含む3年生は八工ラグビー生活の幕を閉じた。3年間の努力で培ったフィジカルをきっと次のステージで活かしてくれるだろう。(竜)

山岳部 B隊 完歩したが優秀校ならず

三上大智くん クライミング 全国大会出場決定



大阪府にある常翔啓光学園のクライミングウォールで11月12日、第27回近畿高等学校スポーツクライミング大会が行われた。本校からは三上大智くん(1-2)がリード競技に出場した。リード競技とは、15mの高さの壁を時間内にどこまで高く登れたかを競う競技だ。

近畿勢では予選14位となった三上くんだが、滋賀県勢では予選2位という成績を残し、12/24・25日に埼玉県で行われる全国大会へ出場を決めた。

機械工作部

高校生ものづくりコンテスト全国大会 機械系旋盤作業部門

4位 杉本蓮(2-1)

「おねじ部が工程表通りに作れなかったり、刃物が切れなくなったりと予想外のアクシデントに見舞われ、悔いの残る結果になった」と杉本くん。「全国大会の経験を後輩に伝えます。今後も旋盤や溶接の技術を更に高め、より高度な資格取得にも挑戦したい」と抱負を語る。出場したことで見つけた新たな課題への取り組みは、すでに始まっている。(健)

技能競技大会(技能検定試験) 成績優秀者表彰

令和3年度後期技能競技大会成績優秀者

(滋賀県知事表彰)

杉本 蓮(2-1) 普通旋盤 3級 知事賞

令和3年度後期技能競技大会成績優秀者

(滋賀県職業能力開発協会会長表彰)

川村悠逸(2-2) 普通旋盤 3級 1位

岡田凌茉(2-2) 普通旋盤 3級 2位

西川翔梧(2-1) 機械検査 3級 2位

機械工作部以外の挑戦者も続々表彰!

令和3年度後期技能競技大会成績優秀者(滋賀県職業能力開発協会会長表彰)

上田柊奈(3-3) 電子機器組立て 3級 2位

鷲塚 柊(3-3) 電子機器組立て 3級 2位

寺田祐輝(3-4) 電子機器組立て 3級 2位

令和4年度後期技能競技大会成績優秀者(滋賀県職業能力開発協会会長表彰)

木村陽人(2-1) 機械検査 3級 1位

電気科からも出場

電気工部門

鷲塚柊(3-3)

惜しくも入賞ならず

鷲塚くんは「近畿とは全然雰囲気違って不安しかなかった。しかし最後なので、練習してきたことは全部出そうと思った」と大会への思いを振り返った。大会当日に発表される課題もあり、それに対応しないといけないのが難しかった。そのため必要なことを前日に予習して、大会に臨んだ。

惜しくもミスがあり、入賞することはできなかったが「感情に流されず落ち着いて、めげずに頑張ることが大事」と、自分の失敗を生かして後輩へアドバイスをしてくれた。(川)

卓球部

団体1回戦 0 vs 3 八日市高校



今回の結果に「悔いしか残ってない」と三上くん。「緊張してガチガチになって、普段100%失敗しないところで失敗してしまった」と話す。「大会本番では、簡単な所で体力を消耗しないようにする。大会までに登りこんで体力をつける」と全国大会を見据えた。目標は決勝に出場することだ。

本校の山岳部においてクライミングで全国大会に挑戦するのは三上君が初めてだ。ニューヒーローの活躍に期待をよせたい。(藤)